

「ふるさと住民」モデル事業の 実施自治体に選定されました

居住地以外の地域に継続的に関わる「ふるさと住民」の登録制度について、制度を所管する総務省は、スマートフォンの専用アプリを活用したモデル事業を実施すると発表しました。モデル事業には2つのタイプがあり、「連携モデル」に7道県37市町村、「個別モデル」に21市町村が選定されました。令和8年4月現在、1,126人の「ふるさと住民」が登録されている飯館村は、「個別モデル」のモデル自治体に選ばれました。今後、専用アプリの活用について、具体的な内容の検討を行います。



写真はデザインが選べる「ふるさと住民カード」。制度を活用し、関係人口の拡大・充実に取り組んでいます。

デスティネーションキャンペーン イタネちゃんが旅行者を歓迎!

4月4日、常磐線の各駅で、ゆるキャラ達が特別列車「サイクルトレイン」を歓迎しました。4月1日から6月30日まで開催されている「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の企画の一環です。



飯館村公式キャラクターのイタネちゃんは、原ノ町駅(南相馬市)で乗客の皆さんをお出迎え。県や沿線自治体のゆるキャラ仲間と一緒に、横断幕で歓迎したり、発車する列車のお見送りをしたり、大活躍でした。



自転車をそのまま列車に持ち込める「サイクルトレイン」で来県した皆さんを、駅のホームで歓迎しました。

飯館村消防団春季検閲式 消防飯館分署駐車場で開催

4月19日、消防飯館分署南側駐車場で、『令和8年飯館村消防団春季検閲式』が開催されました。式には消防団員68人、役場消防隊5人の計73人が参加しました。式では、川村仁団長(関根・松塚)があいさつし、「消防活動を通して、安心できるふるさとをつくっていくことが我々の責務。取り巻く環境は厳しくとも、住民が安心して生活できることを願い、意欲を持って任務にあたるよう、より一層の奮起を願います」と団員を鼓舞しました。訓練と検閲に続いて、永年勤続の表彰も行われました。



規律訓練を行い、分団ごとに整列。検閲官の杉岡村長、川村団長らが検閲を行いました。

飯館村鳥獣被害対策実施隊 新年度の活動をスタート

4月3日、村役場で『飯館村鳥獣被害対策実施隊編成会議』が行われ、杉岡村長から隊員22人に委嘱状が交付されました。隊長には原田直志さん(深谷)、副隊長に高野秀春さん(大倉)を、どちらも再任で選出しました。杉岡村長は、「皆さまの活動が、生きがいとなりわいの力強い再生と発展につながり、さらには村が目指すべき将来像『美しく 清らかな村 いいたて』へとつながります」と感謝を述べました。同隊は令和7年度にイノシシ170頭、サル222頭、その他452頭の捕獲を行っています。



村役場で行われた編成会議。杉岡村長から委嘱状の交付を受け、今年度の取り組みがスタートしました。

第38回ふくしま駅伝 飯館村の選手候補を大募集!

11月15日に開催される第38回ふくしま駅伝(市町村対抗縦断駅伝競走大会)の候補選手を募集します。お問い合わせ・お申し込みは、いいたてスポーツ公園管理棟(☎0244-42-0152)まで。以下の参加資格に1つでも該当すれば参加できます。①令和8年9月1日時点で村に住民票がある方。②いいたて希望の里学園の7・8・9年生。③他自治体に居住し村に通勤している役場職員・学校の教職員・常備消防職員。④他自治体から災害復旧・復興のため村に勤務している方。⑤飯館村の中学校出身者(ふるさと選手)。



写真は令和6年開催の第36回大会第1区。飯館村のたすきをつなぎましょう。ご応募お待ちしております。

住民懇談会及び7次総計画説明会 3会場で全4回開催しました

4月11日・12日の2日間、交流センター「ふれ愛館」、サンライフ南相馬(南相馬市)、福島県青少年会館(福島市)の3会場で、『住民懇談会及び第7次総合振興計画説明会』を開催しました。

会には杉岡村長、中川副村長、高橋教育長、村管理職が説明者として出席し、令和8年度の重点事業や7次総計画について説明しました。また、説明に続いて質疑応答が行われ、現状の課題を共有しながら、今後の村づくりに対する思いや考えを述べ合いました。



交流センター「ふれ愛館」では両日で計2回開催しました。お忙しい中、ご参加をありがとうございました。